

宇都宮市立宝木小学校 第5学年児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題

○「家で、自分で計画を立てて勉強している」の設問に対する肯定的回答率は、県平均よりも6.2ポイント、市平均よりも高い。今後も、学習への関心・意欲を高められるよう、教材や指導方法を工夫していく。

○「友だちの前で自分の考えや意見を発表することはとく意だ」の設問に対する肯定的回答率は、県平均、市平均、7.7ポイント高い。肯定的回答がさらに増えるよう、引き続き、発表することを称賛する指導をしていく。

○「早ね、早おきを心がけている」の設問に対する肯定的回答率は、県平均よりも5.4ポイント、市平均よりも4.1ポイント高い。また、「食事のとき、すききらいをしないで食べている」については、県平均よりも6.6ポイント、市平均よりも4.2ポイント高い。生活習慣についての指導や食育指導の充実が考えられる。引き続き、指導を継続していく。

○「家の人としてよう来ることについて話すことがある」の設問に対する肯定的回答率は、県平均よりも8.5ポイント、4.2ポイント高い。また、「家の人と学習について話をしている」については、県平均よりも5.9ポイント、市平均よりも4.1ポイント高い。「家の人はあなたがほめてもらいたいことをほめてくれる」については、県平均よりも7.9ポイント、市平均よりも4.1ポイント高い。日頃から家族とコミュニケーションを図り、夢や将来のことが話題となっていることが分かる。良好な家族関係がうかがえる。今後も、各家庭での協力を呼び掛けていく。

●「家で、学校やじゅくの決められた宿題のほかに自分で考えた宿題をしている」の設問に対する肯定的回答率は、県平均よりも3.1ポイント、市平均よりも4.3ポイント低い。学校と家庭が協力し、日頃から声掛けをしたりきめ細かい具体策を講じながら、家庭学習の定着を図っていく。

●「じゅ業で自分の考えを文章にまとめて書くことがむずかしい」の設問に対する肯定的回答率は、県平均よりも8.1ポイント、市平均よりも3.8ポイント高い。文章を書くことへの苦手意識が高いことが分かる。こまめな文章指導、作文指導を行う。

●平日に2時間以上テレビゲームをしている児童の割合は27.6%、2時間以上テレビやビデオ・DVDを視聴している児童の割合は54.5%と非常に高い。テレビゲームやテレビ、ビデオ、DVDの弊害や家庭での過ごし方について、引き続き指導するとともに、各家庭への啓発を行っていく。

●携帯電話やスマートフォンの所持率は54.5%と50%を超えており、県平均よりも13.4ポイント、市平均よりも11.1ポイント高い。特に、平日1時間以上使用している児童の割合は、11.1%と県や市の平均よりも高い。また、「見てはいけなくならないようになっていきますか」という設問に対する肯定的回答率は、41.8%と低く、県平均よりも1.5ポイント下回っている。今後も、携帯電話やスマートフォン、通信型ゲーム機の正しい使い方、フィルタリングの導入していくとともに、各家庭に対しても、ルールづくりやフィルタリングの啓発を行っていく。

●「自分はクラスの人に役に立っていると思う」の設問に対する肯定的回答率は、49.3%と50%を下回っており、4.8ポイント、市平均よりも6.8ポイント低い。当番活動や係活動を充実させ、自己肯定感や自己有用感を高める。

が見られるもの
よりも6.5ポ

よりも、ともに

ポイント高い。
イント高い。

市平均よりも
1も2.2ポイン
よりも4.1ポイ
関係が築けて

、県平均より
提示したりし

2ポイント、
心がけてい

いる児童の割
指導していくと

8.9ポイント
ないサイトに
ト、市平均よ
重要性を指

県平均よりも
いく。